

『モビリティとプラットフォーム学』

～シェアリング・MaaS・数理最適化から考える「これからの移動のかたち」～

シェアリングの伝道師、トヨタ自動車および京都大学の研究者が安全かつ安価で、持続可能な交通手段の実現への道筋を議論する



情報学と複数領域を連携させ、新しい価値創造を目指すプラットフォーム学。このプラットフォーム学を扱う京都大学「社会を駆動するプラットフォーム学卓越大学院プログラム」では、プログラムの一環として毎月セミナーを開催しています。第12回となる今回は、SDGsのゴール11「住み続けられるまちづくりを」の中で設定されている、持続可能な交通手段（モビリティ）の実現をいかに果たしていくのかがテーマ。近年急速に普及が進んでいるシェアリングエコノミーの可能性や、あらゆる交通手段を個々人のニーズに最適化して組み合わせることで交通利便性の向上を目指すMaaS（Mobility as a Service）といった切り口から、識者や研究者らが「これからの移動のかたち」を多角的に議論します。

イベント概要

- 開催：2022年6月30日（木）
- 時間：16:45～18:45（履修生は19:15終了予定）
- 主催：京都大学プラットフォーム学卓越大学院
- 協力：京大オリジナル株式会社／株式会社角川アスキー総合研究所
- 事前応募制／オンラインセミナー（Zoomウェビナー形式※）

※セミナーご参加には、お使いのパソコンやスマートフォンで、Zoomへ接続できる環境を事前に準備いただく必要がございます。



お申し込みはこちら
（6月29日12時締切）

登壇者

石山アンジュ 氏 一般社団法人シェアリングエコノミー協会 代表理事／一般社団法人Public Meets Innovation 代表
山下信雄 教授 京都大学大学院 情報学研究科 数理工学専攻
吉澤真太郎 氏 トヨタ自動車株式会社 未来創生センター R-フロンティア部 主幹
原田博司 教授 京都大学 プラットフォーム学卓越大学院 プログラムコーディネーター